

高津発 日本改革

前川崎市議会議員 ほりぞえ健 ニュース

2012年2月号 No. 62

(連絡先)

〒213-0033 川崎市高津区下作延4-22-12-411

電話&FAX 044-877-6317

ホームページ <http://www.horizoe.com>

電子メール horiken@horizoe.com

2012年度予算案発表

—高津区における主な事業

(事務局)

川崎市議会でも2012年度予算の審議がはじまりますね。

(堀添)

はい。先日、市長から提案される予算案の概要が発表されました。一般会計、特別会計、企業会計を合わせると、総額約1兆2346億円余となります。今年度と比較すると約900億円程度、率にすると6.8%減っています。

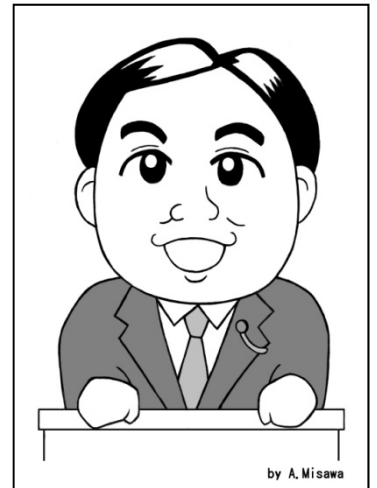
(事務局)

やはり景気の低迷が原因でしょうか。

(堀添)

もちろん景気の低迷は影響していますが、市税収入全体ではほぼ今年度と同じレベルと見込んでいます。具体的には、固定資産税と都市計画税で約43億円の減となるものの、市民税で約28億円、市たばこ税で約13億円の増となります。

また、人件費は約40億円、公債費は約42億円、扶助費も8億円減っているものの、予算総額も減っているため、一般会計における義務的経費の割合は51.7%から51.9%へと、0.2ポイント増えています。今後もしばらくは、予断を許さない状況が続く前提で、市政のあり方を考えていかなければならないと思います。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 幹事長
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

高津区における主な事業

○溝口駅南口地下駐輪場整備(約1900台分を整備)

○溝口駅南口広場の整備

○「エコシティたかつ」推進事業: 548万8千円

学校ビオトープの整備や区内緑地の調査活動を実施

○高津区防災まちづくり推進事業: 1253万3千円

地域防災計画の策定、地域防災拠点(中学校5校)へのLEDランタン等の配備

○高津区ふるさとアーカイブ事業: 507万3千円

区制40周年を記念し、高津区の歴史を共有するための記念誌を発行

○高津区制40周年記念イベント事業: 298万2千円

記念イベントや写真展等の開催

○大山街道周辺整備活性化事業: 554万3千円

「高津大山街道マスタープラン」に基づく取り組みの推進

○地域防災力向上事業: 避難所運営会議での防災専門家による出前講座の実施。

子母口小学校・東橋中学校の合築整備、久末小学校の再生整備、上作延小学校の改築工事

ニケ領用水総合基本計画の改定、橋処理センター整備に係る基本計画の策定

北部斎苑の火葬棟及び斎場棟の改修工事に着手(7億424万5千円)、等。

寄稿

地域力の強化のために何ができるか

前川崎市議会議員 ほりぞえ健^{けん}

震災で明らかとなった
地域力の大切さ

昨年は「東日本大震災が起きた年」として、これからも記憶されることになると思います。被災地は、い

まだ復旧・復興にはほど遠い状況ですし、高津区でも、放射能や電力供給の問題をはじめ、少なくない課題が

残されています。

私自身、被災地を訪れてみて痛感したのは、大規模災害に際しては、いかに「地域力」が大切か、ということです。

考えてみれば当たり前のことですが、大規模災害が起きれば、電話網は遮断され、仮に家屋が倒壊し

て救急車を呼ぼうとしても、おそらく119番の電話は繋がらないでしょう。

また、道路も寸断され、救急車や消防車が通行できない状態ではなくなります。

つまり被災直後は、行政や消防の助けはまず期待できず、こうした状況は少なくとも三日間から一週間程度は続きます。

もちろん、大規模震災に

対して、消防や行政の対応力を強化していくことは大切です。しかし、それだけでは不十分であり、それぞ

れの地域を活性化させ、地域力を強化していくことが、防災対策の上でも決定的に重要であることが、改めて証明されたと言えるのではないのでしょうか。

地域力の強化のために
何ができるのか

現在、町内会や自治会を

ほりぞえ健^{けん}

も、地域コミュニティ自身が一軒一軒安否確認を行い、必要であれば手助けを行ったところでは、それだけ地震や津波の被害を小さくすることができていました。

はじめ地域コミュニティ活動はボランティアによって支えられており、自治体としての支援やかかわりはごく一部にとどまっています。こうした関係を見直し、地

域コミュニティが果たすべき役割にふさわしいものへと大きく変えていかなければならないと思います。

それとともに、私たち自身も、地域力の強化のために何ができるのかを、考え実行していくことが求められているのではないのでしょうか。

ほりぞえ健^{けん} 事務所

〒213-0033
高津区下作延4-22-12
☎044(877)6317
E-mail: HoriKen@horizoe.com

プロフィール

- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。48歳。
- 東京都三鷹市で地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年、川崎市議会議員に初当選。
- 2011年、同3期目に挑戦するも惜敗。
- 妻と長女の3人家族。
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員

(高津区版 2012.1.1号)



発行責任者/宇山 知成
編集長/木曾 祐司
発行所/高津区下作延4-22-12
電話/044-860-4111 FAX/044-860-4001
http://www.townnews.jp

政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294